

活動名						浅利富士登山					
概要		○自然を楽しみながら室神山を登山する。 (標高：246m, 俗称：高仙・浅利富士)									
ねらい		○野山を歩くことによって、生き物や四季の自然の様子に気づくことができる。 ○自分のペースで登山をし、その達成感を味わうことができる。									
関連教科等		理科・社会・体育・道徳									
指導形態		①自主活動で実施									
時期		通年		時間帯		早朝～昼間		対象		幼児～	
場所		浅利富士登山コース みんなの森コース		人数		～200人程度		所要時間		1～2.5時間 (休憩を含む)	
準備物		施設で準備できるもの				団体・個人で準備するもの					
		トランシーバー, 双眼鏡, くますず				野外活動のできる服装, 帽子, タオル, 雨具, 水筒, リュックサック(手に物を持たせない配慮)など					
進め方・展開例											
内容						留意点					
活動前		○事務室で打ち合わせを行う。 ・実施の判断 ・ねらいの確認 ・物品の受け渡し(準備物参照)				○荒天時は相談の上, 実施判断をする。 ○自主活動で実施の場合は, 活動の進め方を確認する。					
活動の説明		○登山について ○室神山, 自然について ○安全についての諸注意 (歩き方や危険な動植物について)				○事前の下見, 研修者の健康状態の確認。 ○ただ山に登るといふことにならないように, 各団体のねらいに合った話をする。 ○全体行動をすることや, マダニ, ウルシ, ハゼ, マムシ, スズメバチ等について話をする。					
展開		○出発する。 ・コース(選択) ①浅利富士登山コース ②みんなの森コース ○展望台や山頂で休憩する。 ○下山する。 (展開例) ・野鳥の声を聞く。 ・森の様子を観察する。 ・ネイチャーゲームを行う。 ・ばあさん井戸の伝説の話を聞く。 ・岩場の展望台で景観を眺める。 ・浅利富士・高仙地蔵の話を聞く。 ・風景のスケッチをする。				○トランシーバーを持つ指導者を先頭, 中間, 最後尾に配置し, 連絡を取りつつ登る。 ○コースは, 事前に調べておく。どのコースを選択するかは人数, ねらいによって決定する。 ○途中休憩を兼ねながら動植物や景色についても話をするとよい。 ○水道, トイレがないので, 事前対応が必要。 ○往路・復路でコースを変えることもできる。					
まとめ		○登山をして発見したことや驚いたこと, 感じたことなどを発表し合い, 分かち合う。									
評価		○生き物や自然の様子について気づくことができたか。 ○友達と協力し合って登山し, 達成感を味わうことができたか。									
発展		○創作活動と関連づけ, 材料集めを取り入れてもよい。 ○コースを選択して登山してもよい。 ○ナイトハイクとして実施もできる。(夏は漁り火が美しい。)									

山頂からの眺め



「北」日本海・愛真高校



「西」日本海・自然の家



「東」浅利・黒松海岸



「南」島の星山・江の川